

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第161号



走り切った夏

連日猛暑日が続いた夏休みが終わり、2学期がスタートしました。涼しい風がふくのは、まだしばらく時間がかりそうです。

秋 実りの季節のスタート

夏の暑さも少しすつやわらぎ、朝の風に秋の気配を感じる頃になりました。いよいよ新学期のスタートです。夏休みにしっかりと学習できた人も、思うように進まなかった人も、この9月から気持ちを新たにスタートすることが出来ます。

徳島第一ゼミでは恒例の宿題を終わらせる合宿・受験必勝夏合宿を皮切りに、最長で24日間の夏期講習会がこの前終了しました。全力で完走した夏。始まる前に思い描いていた計画や目標はしっかりと実践できたでしょうか？まずは、冷静に振り返ってみて、反省するところは改善を加え、また新たな2学期の学習計画を立てていきましょう。

秋は「実りの季節」といわれます。稲穂が育ち実るように、皆さんの学習もこれから実を結ぶときが来ます。そのためには、この時期は「継続」が大切です。新しい単元の内容は少しずつ積み重なり、やがて大きな力になります。一度で覚えられなくても、くり返し学習することで確実に自分の力にしていきたいと思います。

2学期は学校行事や重要テーマの授業もたくさん入ってきます。その都度、自分が今何を優先すべきか考え、前に進んでいきましょう。常にやるべきことを考え、実践し、上手くいっていないときは修正を加える。この繰り返しはとても重要です。

この夏の頑張りや胸に秘めて、2学期も全力でさらに走り切ろう!!

(竹田先生)



9月からの学びが、これからの自分をつくっていきます。一つ一つの積み重ねを大切に、実りの秋を目指して共に頑張っていきたいと思います。

(日下先生)



9月/中学部だより(9月)

9月が始まり、新しい季節が到来しました。この時期は、夏休みが終わり、自分の学力レベルアップを試すときとなります。そして、中学生の皆さんにとっては、高校受験に向けた準備の重要性を再確認し、新たに目標に向かって計画的に取り組む絶好のタイミングともなります。高校入試だけでなく、大学入試を意識しながら、未来に向けた第一歩を踏み出しましょう。

まず、中学1年生の皆さん、まだ高校受験や大学受験は少し先に感じるかもしれませんが、今学んでいる基礎的な内容が、未来の進路にとって大切な土台になります。例えば、数学の計算力や英語の基本的な単語や文法は、これからの学びの力ギとなります。さらに、日々の授業やテストに真剣に向き合う姿勢が、最終的に自分自身の可能性を広げるものとなるのです。中学1年生のうちに、習慣として「わかるまでやる」を実践していきましょう!

「一日の計は朝にあり」という言葉があります。一日をどう過ごすかを朝に決めることは、良い習慣づくりにつながります。前日の夜に次の日に取り組む内容をノートにメモしておくのもおすすめです。秋の新学期を迎えたこのタイミングだからこそ、新しい習慣を始めるチャンスです。

次に、中学2年生の皆さん、今年受験への準備を本格的にスタートさせる時期です。特に重要なテーマとなるのが、弱点を早期に見出し、それを克服することです。中学校での実力テストや定期エックテストで振り返りを行い、

自分の学習方法を見直してみてください。例えば自分にとって簡単な内容の復習ばかりではなく、実際にテストに出てくるような少し難しい目の問題にこそ、多くチャレンジしていかねば、学力のレベルアップは見込めませんよ。また、高校入試では内申点が大きく影響を与えるので、普段の授業態度や提出物の完成度にも意識を向けて下さいね。

そして、中学校の全学年の皆さんに共通して伝えたいことがあります。それは、「長期的な視野を持つ」ことです。高校入試や大学入試は、未来の選択肢を広げるための通過点であり、自分の夢や目標を現実近くに近づけるための機会です。もし進路に迷ったり、不安を感じたりすることがあれば、私たち徳島第一ゼミの教師にぜひ相談して下さい。一緒に解決策を探し、道を切り開いていきましょう。

最後に、秋は「努力の収穫の季節」です。皆さんが一生懸命に積み上げた努力は必ず成果に結びつきます。未来の自分を想像しながら一歩一歩...。確実に夢や目標に進んでいきましょう。徳島第一ゼミでは、皆さんの夢や目標を応援する準備が整っていますよ。一緒に頑張りましょう!

このメッセージが受験を意識する子供達にとって、励みになると嬉しいですね。さあ、秋の季節も「一杯の君」になりましょうね。

(工藤先生)



長月を迎える

九月とはいえ、まだ夏を思わせる暑い毎日です。しかし、九月は夏から秋への季節の変わり目を感じる月でもあります。夕方になると、どこからか虫の声が聞こえてきて、「ああ、もう秋が近づいてるんだな」と気づかれます。特に最近では、一年の中で夏と冬の期間が長くなり、秋の期間が短くなっていますので貴重な秋を大切に過ごしましょう。

さて、夏休みが終わり、学校が再開すると、またいつもの日常に戻ってきます。でも、ただ「また勉強が始まる」というだけではありません。夏休みに体験したことや学んだことが、自分の中にしっかりと残っているはずですよ。海で泳いだこと、家族で出かけた場所、読んだ本やがんばった宿題。それらの一つひとつが、今の自分をつくっています。だから、夏休みの前の自分と比べると今の自分はきっと大きく成長していることでしょう。

また、九月は新たな気持ちで再スタートできる時期でもありません。夏に見つけた苦手なことや、もつとがんばりたいことを、改めて見直すチャンスです。たとえば、算数の計算ミスを減らすためにノートに丁寧な書きかき、漢字を毎日少しずつ復習するといったように、小さな努力を積み重ねることで、大きな力になります。ここで大切なのは、「今の自分にできることを、自分のペースで続けること」です。

そして、九月には学校行事も増えてきます。運動会の練習が始まったり、クラブ活動が活発になったりして、みんなで協力する場面が多くなります。そうした経験を通して、仲間との関係も深まり、また一つ自分が大きく成長できるはずですよ。だから精いっぱい、今しかできないことを頑張りましょう。

最後になりますが、私は毎年九月になると「今年の残りをどう過ごすか」を考えるようにしています。あっと言う間に過ぎてしまう毎日の中で、何か一つ、自分の中に残せるものを見つけないと後悔するのです。それは、成績かもしれないし、新しい趣味かもしれないし、でも、それを見つけて前に進むことで、自分が少し成長できたように感じられるといいですね。

(宇都宮先生)



志望校対策 スタート

7月・8月と弱点克服と過去問演習講座に時間をかけて進めてく...

1. A-1の正確な学力診断による「個別最適化」生徒一人ひとりの苦手分野を膨大な日々の学習データをもとに診断...

3. 東進ビッグデータとA-1の活用で今伸びやすい演習を提案ピンポイント学習、短期間で苦手克服実現の背景には「IT教育」を先進した東進だからこそ「もつ膨大な過去の先輩の学習データ」...

膨大な「過去の先輩の学習データ」を「過去」の先輩の学習データ・膨大な「過去の先輩の学習データ」...

のかをA-1が機械学習し、その分析結果から成績が伸びやすい演習を提案します。

志望校合格のために得点を飛躍的に高める方法、それは伸びしろの大きい苦手を克服すること、そして志望校に特化した対策を徹底的に行うことです。A-1演習を最大限に活用し成績の大巾アップを目指しましょう！

(伊勢先生)

オープンキャンパス

この夏、大学のオープンキャンパスに参加した生徒も多いのではないのでしょうか。

実際にキャンパスを訪れることで、パンフレットや大学のホームページだけでは分からなかった学校の雰囲気や特色を、自分の目で見て、肌で感じる事ができます。

徳島県に住んでいると、県外の大学のオープンキャンパスに参加するには時間や費用、移動の手間など、どうしても負担が大きくなってしまいがちです。そのため、興味があっても日程が合わなかったり、参加を断念したりした人もいるかもしれません。

しかし、最近ではオンラインでのオープンキャンパスや個別相談、大学説明会など、さまざまな形で大学と触れ合う機会が増えていきました。秋以降にも開催されるイベントも多いため、これからでも

まだまだ間に合います。気になる大学があるなら、積極的に情報を集めて、参加できるチャンスを見逃さないようにしましょう。

「自分の目で見て、直接聞く」ことが、進路選びをより確かなものにしてくれるはずですよ。

(河野先生)

受験の天王山

よく「夏は受験の天王山」と言われます。この言葉は、戦国時代のある戦いが由来です。

1582年、本能寺の変。明智光秀が織田信長を討ったとき、羽柴秀吉は遠く中国地方で毛利家と戦っていました。

しかし信長の死を知った秀吉は、即座に毛利と和睦し、京都へ向けて全軍で走り出します。これが有名な中国大返しです。

こうして「天王山」は、勝敗を分ける大きな分かれ目を意味するようになったのです。受験も同じです。夏は、中国大返しのように全力で加速し、天王山を制する時期。この夏を制した者が、入試を制します。

(齋藤先生)

サマースクール 終了

7月下旬より始まったサマースクールが終了しました。ハレハレ工場見学から始まり、最後はみんなで夏祭り会場を作り楽しみました。毎日笑顔で挨拶をしてくれ、アクティビティを楽しみにしてくれている生徒のみ

なさんの姿がありました。

また、アートやサイエンス、クラフトなど思考力や創造力を伸ばすアクティビティも盛りだくさんでした。集中して制作に取り組み姿が印象的でした。作り方や手順が分からなくなった時は、友達同士で意見を出し合ったり、高学年の子が低学年の子を手伝ってあげていたり、助け合う様子もありました。完成した後は「できた！」「もう一個作りたい！」など明るい声が聞こえてきて、日を重ねることにやる気あふれる第一駅前学童へとなっていました。

そして、施設へ行く時はグループに分かれます。高学年の子がリーダーとして頑張ってくれました。グループ内での意見まとめ、集合時間の確認、伝達などリーダーとしての役割をしっかりと果たしてくれました。このリーダー経験を通して、自信ややる気が高まり、コミュニケーション能力や責任能力がアップしたのではないのでしょうか。また、そのリーダーを見ていた低学年の子たちにも明るく積極的な雰囲気広がっています。一人ひとりの成長は学童全体の成長に繋がっています。

さあ、長い夏休みも終わりに学校が始まりましたね。サマースクールで身につけた力を十分に発揮し、9月以降も成長し続けてください。

(第一駅前学童) (第一駅前英会話)

ハイブリット通信

夏期講習が終わり、二学期となり。夏休み前に掲げていた目標を、皆さんは達成することができたでしょうか。目標が大きければ大きいほど、当然達成するのは難しくなるわけですが、逆に達成感は何物にも代えがたいほど大きいものです。目標に対するアプローチは、夏休みが終わっても継続しましょう。

さて二学期になると、そろそろ年度の学習について考える頃合いとなります。進度が早い人は、実はもう既に高校内容をスタートしています。クラス授業とは異なり、各自が自分のペースで学習できるといってはハイブリットコースの強みです。現状に満足せずにどんどん進めて、最強の先取り学習を目指しましょう。できれば高一までに英語や数学の先取り学習を修了して、受験対策レベルの学習を早くからスタートできるように意識してください。

また八月下旬には実第2回駿台学力テストを実施します。おそろしく九月中には成績表が返却されると思います。できれば一週間以内くらいを目標として、復習をして振り返りを必ずしておいてください。自分が出来たこと、出来なかったことを話せるようになるのがベストですね。十月末には全国統一中学生テストがありますので、必ずそれまでに受講を修了するように計画的に学習しましょう。

(小倉先生)



徳島第一ゼミ フログより

なかなか英単語を覚えられない、書けないという悩みをよく生徒さんから聞くので、こんな作戦はどうでしょうか？青ペンで記憶したいものをひたすらにノートに書く勉強法です。人の精神状態は目の前に見えている色に大きく左右されるそうです。その中でも、青という色は気持ちを落ち着かせて集中力を高めてくれる効果があるそうです。是非、この勉強法を試し、モチベーションを上げていきましょう。5/15(木)『身近な物で、記憶力アップ!?』より抜粋

言葉の力

NO.251

「挑戦」

成長はチャレンジの連続 小さい頃、どんなことでも諦めずに泣きながらでも頑張っていた 何度でも何度でも挑戦する姿を見せてくれた いまはどう？ 全力でチャレンジしてる？ さらに大きく成長するために

2025年9~10月の予定

- 9月 9/3(水) ~9/16(火) 夏期個人懇談 9/3(水) 公中検模試 (小6申込者) 9/6(土) 小4~6ゼミ毎週テストスタート 9/7(日) 小6不合格判定テスト(四谷) 阪大本番レベル模試(東進) 名大本番レベル模試(東進) 9/21(日) 全国国公立大 記述模試(東進) 早大・慶大レベル模試(東進) 上理・明青立法中レベル模試(東進) 関関同立レベル模試(東進) 10月 10/4(土) 小3月例テスト(四谷)